



 **DETAILS OF THIS CAR**



●コンフォータブルキットに加え、ダンパーもビルシュタインの強化タイプに変更。このダンパーは寺本自動車商会で取り扱っていて、標準とローダウンの2つのタイプをラインナップしています。



ハイエースの場合、ローフラットのヒンジ部にドア(デフ)が接触することがある。それを避けるため、フレームに逃げを設けるCノッチ加工がほどこされている(奥に見えるオーニングの箇所)



④ 大きな車の場合、エンジンをかけてドアを開けるのが大変な場合はラクに行なえる。だが、爪のないラダーを使う場合、ラダーが車から外れてしまうこともあるので、ラダーを固定する必要がある



ペーサーをかませて高さをあわせている。壁のフックは追加して取り付けたものだが、この位置にあることでパネルなどが固定できるのだ



◆レーサーブを取り外す  
人の積み倒し、側に  
ければならない場合  
タンドとコ



●寺本氏がお兄さんとともに経営する寺本自動車商会は、ハイエースを中心に取り扱っている。陸運局認証工場なのでメンテナンスはもちろん、車検や板金など、安心して愛車を任せられるショップなのだ

トランポのススメ



「シンプル・イズ・ベスト」といった表現がひ

うつたり印象を受ける。変更点は床張りとフックの設置位置にとどめているが、棚などを取り付ける車内は駆けくなってしまいかえって使いにくいと考えたからだ。床張りにより底面はフットルになるため、ハイクはもちろん、テントなどの道具も積みやすくなる。また、標準のカーペットやビニールのシートが貼られているのだが、床張りすることで掃除もやさしくなるというメリットもあるそうだ。



**走りにもこだわった  
質実剛健のトランスポーター**

#01 寺本幸司(大阪府・39歳)  
T-REVの開発者として、そしてレーザーとして  
全国各地を走り回る。約20年のレースキャリア  
を誇り、今年は世界耐久選手権ポルト12  
時間耐久レースにも参戦。見事完走をはたし  
ている。また、今年の鈴鹿8時間耐久レースに  
はBMW-S1000RRで参戦

# ひと味違ったバイクライフスタイルを! トランポのススメ

プロレーサーの寺本幸司氏は、自動車販売店の経営者という顔も持つ。そんな寺本氏のトランボは、長年の経験に基づきシンプルながらも機能的に作られている。足まわりにも走りを追求してカスタムがなされている

「当社は取り扱うすべての商品を自社工場で生産する会社です。内製化によってコストを削減するため、コストパフォーマンスが高まっています。また、自社工場で生産することで品質管理が容易になります。そのため、品質に対する信頼度が高まっています。」

寺子屋がおもなことにする課題は、自動車商業会は、ハイエースを中心取り扱っている。車両販売・施工工場などでのメンテナンスはもちろん、車検や板金など、安心して愛車を任せられるショップなのだ。